

合唱コンクール

7月12日(水)に風雅堂で行われた今回の合唱コンクールは、例年になく2階の保護者席が大勢の家族の方でいっぱいになりました。

2階から見てると子供達一人一人の顔はよく見えませんが、とてもいい顔をして歌っているように思えました。どのクラスの歌声もとてもきれいでこんなに歌えたら楽しいだろうと思えるような歌声でした。こんな美しい合唱は久しぶりに聞いた感じがします。レベルが高く聞いていた保護者は皆さん驚いたことでしょう。あらためて合唱はいいなと思わせてくれる、心洗われる時間でした。ソロあり、独自のアレンジあり、ラップ調ありで各クラスの特徴もよくでていました。全校生が達成感を感じた時間を過ごしたことと思います。毎年2階席は開放しているとのこと。今年行かれなかった1、2年生の家族の方は来年こそは鑑賞してみたいはかがでしょうか。

最優秀賞 3年5組「明日への手紙」

各学年入賞クラス

1年

- 第1位 1年3組
- 第2位 1年1組
- 第3位 1年4組

2年

- 第1位 2年6組
- 第2位 2年2組
- 第3位 2年4組

3年

- 第1位 3年5組
- 第2位 3年6組
- 第3位 3年4組

指揮者賞

宮内 陽来 (3年4組)

伴奏者賞

田辺 瑠那 (3年1組)



3年5組



1年3組



2年6組



宮内君

田辺さん



弁当を作る親の思いは？ 高校生の時の弁当の思い出は？

できるだけ手作りのお弁当を持たせたいと、毎日のお弁当作りに励んでいます。娘は、批評することなく毎日お弁当をきれいに食べてきてくれるので感謝しています。お弁当も母の味が後々感じられるものだと思います。前夜からメニューを考える日々ですが、母の思い、味を伝えていけるよう明日もがんばります。

高校入学と同時に始まったお弁当作りも、三年目を迎えました。同じお弁当にならないように、栄養バランスがとれるように、悩みは多いですがお弁当も子供達とのコミュニケーションの一つと思いつつ作っています。

朝ごはんもしっかり作らねばならず、昨夜の残り物のおかずをしっかりと入れて愛情こめて送り出します。キャラ弁は時間がなくて作れないけど、いい味出しています。

当時冷凍食品もなく手作りの卵焼き、焼魚、炒め野菜が定番。栄養がよかったです。休日も部活があると欠かさずお弁当を作ってくれた母には今でも感謝です。



牛肉のおろしポン酢あえ
ジャガイモ&ベーコングラタン
トマトのベーコン巻き
卵焼き
ブロッコリー
山菜炊き込みご飯

私から母へ「思い出弁当」
二年 須藤 瞳

いつも弁当を作って、私を笑顔で送り出してくれる母に感謝の気持ちこめて作りました。小さい頃に母から教えてもらった料理をおかずとして取り入れたことがこだわりです。午後の仕事も体力を回復して働くようにスタミナや食べやすさを考えて作りました。コンクール応募の機会に、弁当を作る楽しさや食べてもらう人の気持ちを考えて作ることもなご普段なかなか気づけないことに気づくことができました。

第6回お弁当甲子園応募作品より



合唱部顧問 長谷川 桜

去る八月二十七日(日)、24時間テレビ「告白」勇気を出して伝えよう」に本校合唱部が出演しました。この企画は、福島県の今をVTRで伝えると共に、福島の子供達で編成した特別合唱団が、番組のメイン会場である日本武道館で嵐の櫻井翔さんとともに合唱するというものでした。

八月の中旬、浪江中学校、大熊中学校卒業生らと特別合唱団を編成するという事で、郡山へと向かいました。そこに、嵐の櫻井さんが来て下さり、生徒たちは大騒ぎに！武道館での本番への意気込みを確認した後、他の学校の生徒たちともすぐに打ち解け、嵐の「ふるさと」の練習を行いました。それぞれの想いを胸に大型バスで向かった前日リハサル日。スタジオでの練習後、本番会場である武道館へ向かい、今度はステージリハサル。生放送という事で、すべてのことに早めの準備はもちろんのこと、秒単位でのスケジュールが組まれていることには大変驚きました。本番の立ち位置など綿密にチェックを行い、多くのスタッフの見守る中リハサルは無事終了しました。いよいよ本番当日、生徒たちは疲れも見せず朝から元気に練習を開始。夕方の本番に向けて

24時間テレビに出演して

コンディションを整えます。夕方四時頃、武道館に会場入りすると、廊下で様々な芸能人の方とすれ違いました。生徒たちはミーハーな気持ちを抑え、特に騒ぐこともせず、大人な対応で行動していました。最後のリハサルを終え、いよいよ本番。本番前、テレビではCM中の際に、櫻井さんが緊張している生徒たちを気遣い優しい言葉をかけて下さいました。

本番では、今まで浴びたことのないぐらいの眩しい照明の中、溢れんばかりの笑顔で心を一つにして「ふるさと」への想いを歌いあげることができました。今回の経験で茨高校合唱部としての誇りをより強く持つことができたと思えます。このような機会に恵まれたことに感謝して、これからも充実した活動をしていきたいと思います。

